

第18回全国街路事業 コンクール応募資料

平成18年3月

応募者名:愛媛県今治市建設部道路建設課

事業の名称:今治広域都市計画道路大坪通土橋線
整備事業

実施都市名:愛媛県今治市

事業の目的

今治市中心市街地と人口増が著しい市域東部を結ぶ主要地方道今治波方港線は、慢性的な交通渋滞を引き起こしている状況である。広域都市計画道路大坪通土橋線は、主要地方道今治波方港線の交通渋滞の解消を図ることにより、都市交通の円滑化や都市環境の向上、自転車歩行者道の整備による自転車や歩行者の安全性の向上を図ることを目的としている。

事業概要(1)

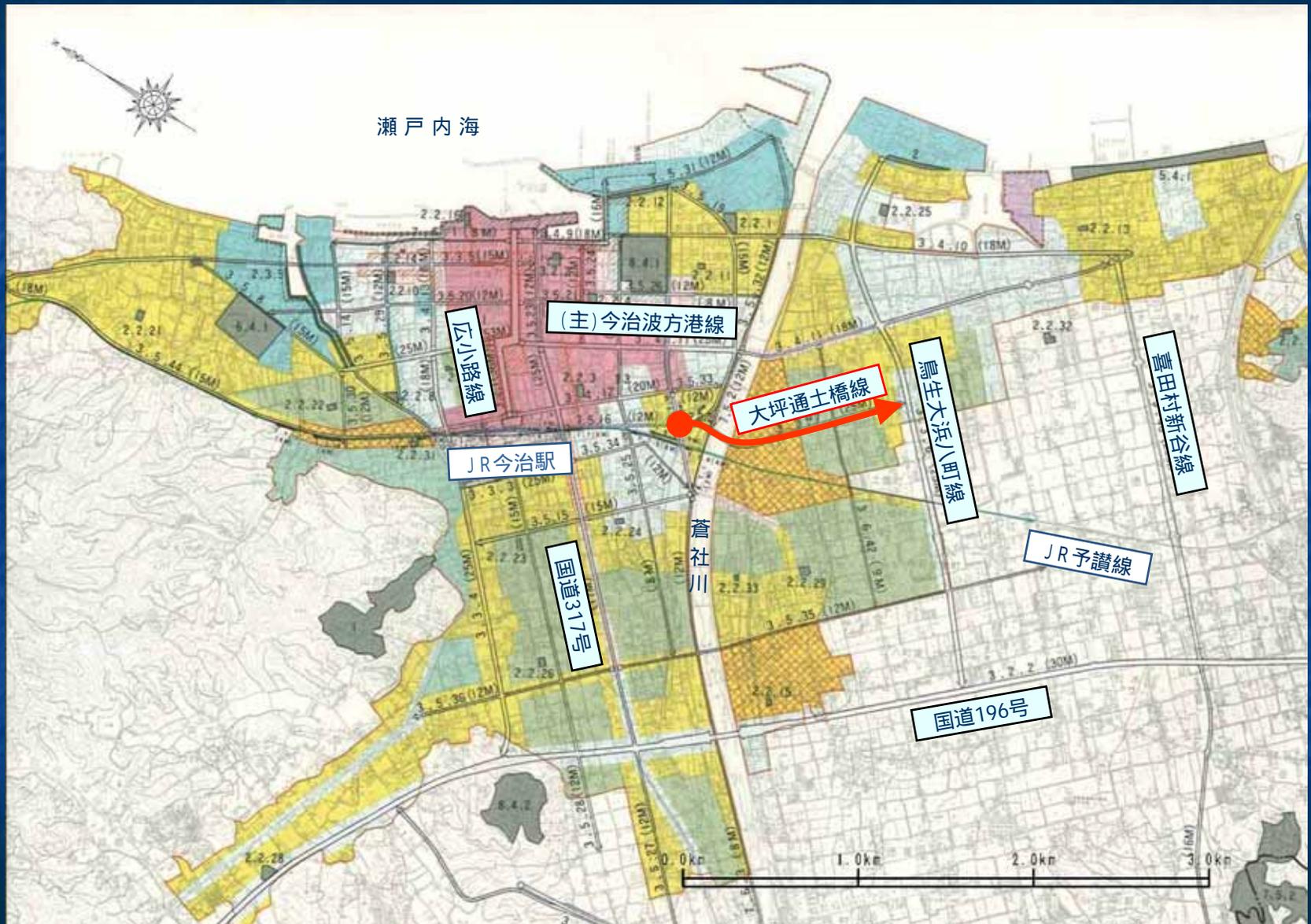
- ◆ 事業名: 今治広域都市計画道路大坪通土橋線
整備事業
- ◆ 路線名: 大坪通土橋線
- ◆ 事業箇所: 今治市蔵敷町二丁目
~ 今治市北高下町四丁目
- ◆ 事業延長: 1,350m
- ◆ 幅員: 25.0m ~ 33.0m
- ◆ 総事業費: 約6.5億円
- ◆ 事業期間: S56 ~ H16

事業概要(2)

本事業は、今治市の蔵敷地区と北高下地区を結ぶ広域都市計画道路L=1.35kmを道路規格第4種第1級、設計速度50km/hにより整備したものである。

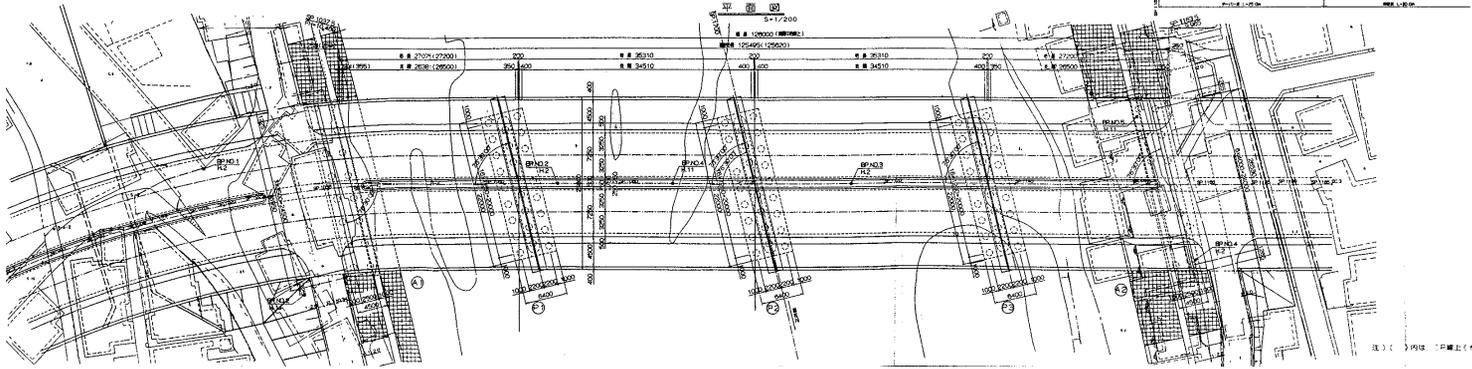
本路線における蒼社川を渡河する橋梁部は、L=126.0mの4径間連結ポストテンション方式PCT桁橋を採用した。また、平面街築部は、周辺景観に配慮し、自歩道部及び中央分離帯に高木及び低木の植栽を施した。高木樹種については、今治市の調和ある発展を象徴とする市木である「クスノキ」を採用した。

事業位置図

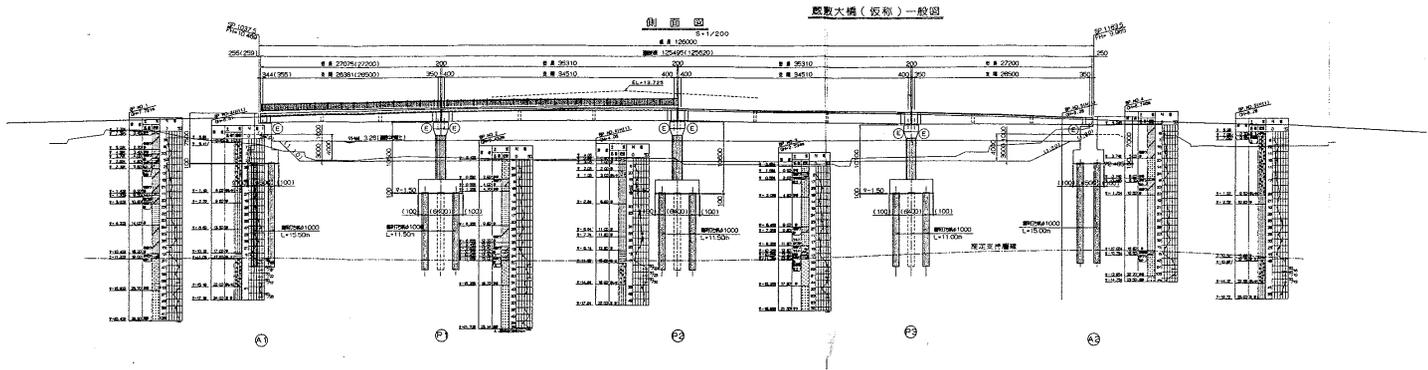


全体図(平面図・側面図・横断面図)

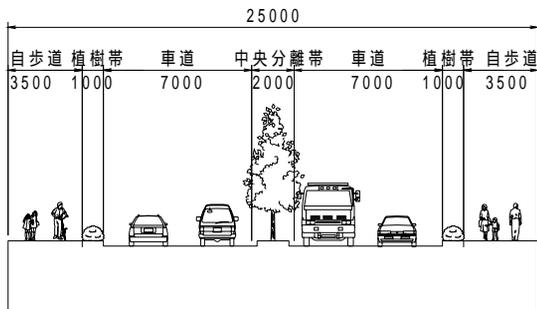
平面図



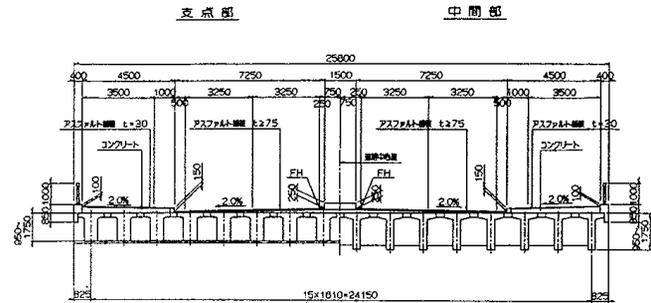
側面図



土工部



橋梁部



広域都市計画道路大坪通土橋線の整備効果

大坪通土橋線の葺敷大橋開通により市内方面と桜井方面を結ぶバイパスルートが供用開始となりました。これにより、主要渋滞ポイントである鳥生交差点の渋滞が緩和され、慢性的な渋滞が解消されました。

事業概要

事業名：今治広域都市計画道路大坪通土橋線整備事業

路線名：大坪通土橋線

事業箇所：今治市葺敷町二丁目

～今治市北高下町四丁目

事業延長：L=1,350m

幅員：25.0m～33.0m

総事業費：約36億円

事業期間：H11～H16

交通量調査結果

供用前 平成16年12月1日

供用後 平成17年2月17日

(主)今治波方港線

交通量 20,760台/12h 8,455台/12h

大坪通土橋線

交通量 2,260台/12h 10,375台/12h



交通量 (主)今治波方港線

20,760台/12h 8,455台/12h (60%減少)

旅行速度 JR今治駅～北高下交差点

(主)今治波方線 L=2.5km 所要時間13分

大坪通土橋線 L=2.8km 所要時間10分 (3分短縮)

渋滞長 (主)今治波方港線 鳥生交差点

市内方面 300m 130m (170m減少)

桜井方面 700m 90m (610m減少)



事業前：H15.5



事業後：H18.2

事業前写真(1)

平成15年5月撮影



事業前写真(2)

平成15年5月撮影



事業後写真(1)

平成18年2月撮影



事業後写真(2)

平成18年2月撮影



事業後写真(3)

平成18年2月撮影

